

岐阜県の森林・林業

森もり林のたより

白山白川郷ホワイトロードが
全線開通します!

No.765
2017 June

6

FREE

ご自由にお持ちください。



●6月11日(日)の全線開通に向けた白山白川郷ホワイトロードの除雪作業状況です。(詳しくは3ページ)

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
6月11日(日) 予定	白山白川郷 ホワイトロードの 全線開通	白山白川郷ホワイトロードが全線開通します。 ●開通日:6月11日(日) 予定 (除雪の状況により開通日を決定しますので、詳しい日時はホームページでご確認ください。) ●供用期間:6月11日~11月10日(予定) ●供用時間:午前7時~午後6時(6月~8月) 午前8時~午後5時(9月~11月) ●通行料金:軽自動車1,400円、普通車1,600円 マイクロバス4,900円 大型バス10,800円	白山白川郷ホワイトロード 岐阜県大野郡白川村鳩谷~ 石川県白山市尾添 5月中:公益社団法人岐阜県森林公社 高山出張所 担当:知手 高山市上岡本町7-468 TEL 0577-33-1111(代表) 6月~:白山林道岐阜管理事務所 大野郡白川村大字馬狩字幅上246-4 TEL 05769-6-1664
6月24日(土) 7月15日(土) 8月26日(土) 9月30日(土) 10月21日(土) 11月25日(土) 12月9日(土) 12月23日(土) 全8回	ぎふ木育指導員 養成講座	●目的:「ぎふ木育」に関する幅広い知識を有し、県で整備を進めている木育拠点をはじめとする様々な場面において、木育プログラムの運営サポートスタッフとしてご活躍いただける人材を養成します。 ●時間:10:00~16:00(予定) ●受講料:無料(ただし、教材費等として20,000円) ●申込締切:平成29年6月10日(土)※当日消印有効 ●定員:10名	森林文化アカデミー(美濃市曾代88) 岐阜県図書館(岐阜市宇佐4-2-1) 岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22) 岐阜県林政部恵みの森づくり推進課 木育推進室 TEL 058-272-1111(代表) FAX 058-278-2702
7月7日(金)	白山開山 1300年記念 「山の日」 シンポジウムin郡上	●内容:「山の日」の趣旨に基づき、シンポジウムを開催します。 ●日時:7月7日(金)13:30~16:30 ●参加料:無料 ※詳細は5ページをご覧ください。	郡上市総合文化センター (郡上市八幡町島谷207-1) 環境生活部環境企画課 TEL 058-272-1111(内線2697) 担当:中村、野田
7月13日(木)	平成29年度 岐阜県森林研究所 「研究・成果発表会」	●内容:森林管理や森林資源の活用に関する研究内容を紹介します。 ●時間:13:15~16:10(受付12:45~)(予定) ●参加料:無料 ●事前申込:必要(FAX、電子メール、郵送にて)	わかさ・プラザ (関市若草通2丁目1番地) 岐阜県森林研究所 (〒501-3714 美濃市曾代1128-1) TEL 0575-33-2585 FAX 0575-33-2584 E-mail c25108@pref.gifu.lg.jp 担当:土肥、久田
7月23日(日)	森林文化アカデミー オープンキャンパス	●内容:①学校の概要説明、②森と木のエンジニア科の説明会、③森と木のクリエイター科教員によるリレートーク、④教員との面談、⑤なんでも相談、在校生とのフリートーク、⑥学内見学ツアーなど ●時間:10:00~16:00 ●参加料:無料 ●事前申込:不要	森林文化アカデミー(美濃市曾代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL http://www.forest.ac.jp/



市況	22
林業者向けお知らせ	21
林地開発許可制度について	21
平成29年度狩猟免許試験と免許講習会のご案内	20
治山・林道研究課題 欧州に学ぶ安価で丈夫な道づくり	19
天然更新を計画するときの留意点 競合植物に気をつけよう	18
研究コーナー	16
東濃地域における森林整備推進のための林業事業者支援	15
普及コーナー	15
森林整備推進協定(森林共同施業団地)の取組について	15
国有林の現場から	14
わがまちの森林・環境行政	13
⑥ 北方町の環境のまちづくり	13
⑨ 笑い話から一転して、クロゲンゴロウ	13
③ 山のおしゃまむし	12
③ 岐阜県の自然公園 恵那峡県立自然公園	12
③ ぎふの木を使った家づくり支援制度のご案内	12
③ 社会福祉法人池辺育心会 池辺保育園	11
③ 木の香るぎふの施設	11
③ 林業グループコーナー 本巣林研クラブ	10
③ シリーズ『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(2)	9
③ ソーシェーンの目立て角を考える	8
③ 森林と人を活かす知恵	6
③ 森の名手・名人シリーズ	5
③ 水源地見学会参加者募集	5
③ 白山開山1300年記念「山の日」シンポジウムin郡上	5
③ 山の歳時記	4
③ クリの花	4
③ 平成29年度山地災害防止キャンペーン	3
③ 白山白川郷ホワイトロードが全線開通します	3
③ イベントカレンダー(一般向け)	2

岐阜県の森林・林業 News of the forest

森もりのたより

No.765 6
2017 June

表紙 ● 白山白川郷ホワイトロード全線開通に向けた除雪作業

白山白川郷ホワイトロードが全線開通します

白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」は、6月11日（日）午前9時に全線開通します。

白山国立公園特別保護地域の山岳地帯を通過する「白山白川郷ホワイトロード」は、この季節、残雪と新緑の両方を楽しむことができます。壮大な山々の風景や、渓谷から吹き上がる冷涼な空気が、爽やかな世界を感じさせてくれます。「白川郷展望台」や「ブナ原生林遊歩道」での森林散策など、「白山白川郷ホワイトロード」の大自然の醍醐味をお楽しみください。

なお、詳しい情報は、白山林道岐阜管理事務所にお尋ねいただくかホームページでご確認ください。

【治山課 増田 龍太】

通行料金

軽自動車	1,400円
普通車	1,600円
マイクロバス	4,900円
大型バス	10,800円



お問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664
<http://hs-whiteroad.jp/>



平成29年度 山地災害防止キャンペーン



近年、集中豪雨等により山地災害が多発し、人命・財産に甚大な被害が及んでいます。こうしたことから、県民の皆さんに山地災害に対する防災意識を高めてもらうため、例年、林野庁、県及び市町村が一体となって、「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

今年度のキャンペーン期間は、平成29年5月20日から6月30日です。

県では、各農林事務所や市町村役場等に山地災害防止キャンペーンポスターを掲示するとともに、市町村の広報誌に関連記事を掲載しています。

さらに、山地災害危険地区の周辺にお住まいの方たちを対象に現地説明会等でのPR活動も行っています。

また、キャンペーン関連行事として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されます。たくさんの応募をお待ちしています。



山地災害危険地区に関する現地説明



防災ポスター掲示状況



山地災害研修の状況

※写真は平成28年度に実施したキャンペーンの状況です。

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

（一社）日本治山治水協会 標語・写真コンクール係 TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

【治山課 萬谷 亘哉】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8526 治山課治山係まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「臭っー」、交差点で車を停車させると、まさに真つ盛りの花を咲かせたクリの木がありました。

5月下旬〜6月に花を咲かせるクリは、前年伸びた枝（結果母枝）の芽から発生する新梢に、雄花が150個程ついた穂状（尾状）の花序をつけ、雄花序の基部に雌花を1、2個つけるのが一般的です。

雄花は垂れているためよく分かりますが、雌花は緑色で目立たず、針のような花柱が約10本と、後に

毬となる総苞があるだけの簡単な形をしています。

同じブナ科でもコナラ属とは違って、クリ (*Castanea crenata*) は虫媒花です。あの独特な雄花の香りで昆虫を集めますが、なんと雄花から花蜜も分泌するため、多く昆虫が雄花に集まります。花にはハナアブ類、ミツバチ類、ハナムグリ類など多くの昆虫が引き寄せられ、中には橙色が美しいアカシジミや緑色が美しいミドリカミキリ等も集まります。

ブナ科クリ属は約10種が北半球に分布しますが、日本には1種しかありません。クリの変種には、一つの毬（殻斗）に果実が6〜8個入ったハコグリ (*Castanea crenata* var. *pleiocarpa*) や、毬のトゲが極端に短いトゲナシグリ (*Castanea crenata* var. *sakyacephala*)、枝が垂れるシダレグリ (*Castanea crenata* var. *pendula*) 等があります。

クリの属名 *Castanea* はギリシヤ語でクリの実を指し、小種名

crenata は葉が円鋸歯状であることを意味しています。

葉による識別では、一見クヌギに似ていますが、クリの葉の裏には腺点（小さな粒々）があり、また鋸歯の先端まで葉緑素があることが見分けのポイントです。

クリと言えば、焼き栗や栗きんとん、木材を連想する方も多いでしょうが、葉や樹皮も大変役に立ちます。肌の敏感な方にはお薦めできませんが、私は現場で「ヤマウルシにかぶれたかな？」と感じた時、応急処置としてクリの生葉を揉んで患部に汁をつけます。これはクリの葉に含まれるタンニンやタンニン酸が、皮膚炎症部のタンパク質に結合して収斂作用として働くもので、カキノキの葉も同じように使えます。

クリやカキノキのタンニンは、「皮のなめし」で硬化や腐敗に関連するタンパク質を除くのに利用されたり、お酒の濁りの原因であるタンパク質を除く「清浄剤」に使わ

れたりしました。また乾燥させたクリの葉や樹皮、毬を煎じてやけどやあせも、ウルシかぶれの患部洗浄に使い、クリの葉の煎汁は咳止めに効果があるとされ、海外でもヨーロッパやアメリカガリの葉を強壮薬や百日咳の鎮咳薬に利用していました。

さて、クリの花のあの独特な香り、男性の前立腺液に含まれるスベルミンという物質に例えられるほど特有の匂いだったのです。



▲左下がクリの雌花、後ろが雄花の穂状（尾状）花序

白山開山1300年記念

「山の日」シンポジウム in 郡上

「山の日」の趣旨に基づき、郷土の山々の持つ自然環境、歴史、文化等の様々な魅力を県民に発信し、郷土の自然を活かし、守り、共生するための自然環境保全意識を醸成することを目的にシンポジウムを開催します。

平成29年は白山が開山されてから1300年の節目の年であり、白山の信仰や歴史文化、自然環境について、講演、パネルディスカッションを行います。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

日時	平成29年7月7日(金) 13:30 ~ 16:30
場所	郡上市総合文化センター(郡上市八幡町島谷207-1)
主催	岐阜県、郡上市
共催	白山ユネスコエコパーク協議会
プログラム	記念講演 岐阜県立森林文化アカデミー学長 涌井史郎氏 特別講演 国連大学IAS OUIK研究員 飯田義彦氏 パネルディスカッション パネラー 白山中居神社禰宜 石徹白隼人氏 環白山保護利用管理協会副会長 曾我隆行氏 (株)大原林産(冒険の森inいとしろ)代表 小森胤樹氏 郡上木履 諸橋有斗氏 コーディネーター 涌井史郎氏
参加料	無料

関連行事

エクスカージョン

白山ゆかりの郡上市白鳥町石徹白地域を舞台に開催します。

日時 平成29年7月8日(土)

プログラム

- ①白山古道トレッキングコース
- ②白山への道五箇所巡りコース



問い合わせ先：環境生活部環境企画課 中村または野田 TEL:058-272-1111 内線(2697)

＊ 水源林見学会参加者募集 ＊

毎年、参加者から大好評をいただいている「水源林見学会」を今年も開催します。

この見学会は、公益社団法人木曾三川水源造成公社主催によるもので、木曾三川(木曾川、長良川及び揖斐川)流域の愛知、岐阜、三重にお住まいの方の参加を募集します。

見学会では、水源となる森林の大切さを理解していただくため、森の健康診断や水源林を守るための間伐体験を行います。夏の思い出づくりにぜひご参加ください。

- 【開催日】** 平成29年8月5日(土)
【場所】 岐阜県中津川市の水源林
【集合場所等】 JR岐阜駅中央北口に8時集合、バスで現地へ移動
JR岐阜駅に17時頃到着・解散予定
【参加対象】 愛知、岐阜、三重県内にお住まいの小学生とその保護者
(保護者同伴。40名程度)
【活動内容】 森林のプロ(公社職員)による森の健康診断、山仕事(間伐)体験等
・生えている木を実際に切っていただきます。
・雨天の場合は、木工教室に変更予定。
・作業ができる服装でご参加ください。
【参加費】 無料
【応募方法】 はがき又はEメールに住所、参加者全員の氏名、ふりがな、年齢、生年月日、性別、電話番号を明記のうえ応募
応募者多数の場合は抽選(応募者全員に抽選結果をお知らせします。)
【応募期間】 7月14日(金)必着

お申込み、お問い合わせは、公益社団法人木曾三川水源造成公社までお願いします。

- 【住所】** 〒501-3756 美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎5階
【電話番号】 0575-33-4011(内408)
【ホームページ】 <http://www.kiso3sen.org/>
【Eメール】 desk@kiso3sen.org



【治山課 増田 龍太】



森の名手シリーズ 42



名人

寺澤 俊二 (72)
岐阜県恵那市

聞き手

踏込 龍生
岐阜県立飛騨高山高等学校1年
平成24年取材

道づくり 山と人生の道づくり

1. 道づくりで山の環境を守る

初めて作業道を作ったのは、11年くらい前かな。県の「作業道研修」を受けて、道を作った。今の時代、山の中で車で入れんと仕事にならんし、手入れもしやすいで。手入れをしないと山に日光が入らんわけよ。陽が入らんちゅうと、山全体が露出しちゃうわけ。土が下まで流れ出ちゃうっていうこと。草が生えとらん、水が流れるわけ。そうすると上の方が崩れる。木は倒れるわけよ。倒れると根っこが上にあがつてきちゃう。押さえる勢いで水の勢いで崩れてくるわけよ。雪でも同じことと言えるわけよ。雪の場合は温度がプラスになるとそういうことが起こるわけ。融雪注意っていうけど、温度が3、4度になると雨が木に凍りついて、凍りついたところに雪が乗ってくるわけ、そうすると、木が倒れてくる。そこにキツキが穴をあけた木があると、それで太い

2. 道づくりは工夫が大切

山のどこを切り開くかどうやって決めるとかつちゅうと、道はヘアピンカーブみたいに回って上に行くんやが、その下の道路と折り返した上の道路との間隔が40mから50mくらいになるようにしてる。木は将来20mになるもんで、それをパターンと倒して引つ張り出す作業をする

「森の名手名人」とは、森に関わる仕事や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人で、毎年、全国で約100名が認定されています。岐阜県においては、現在、47名の「森の名手名人」が認定されています。
この「森の名手名人」を「森の聞き書き甲子園」に参加した高校生が「聞き書き取材」をしたものの中から誌面の関係上要点を抜粋したものです。なお、年齢、住所、学年は取材当時のものです。

3. 安全に作業をするために

チェンソーは1日に1回研いで毎日使う。燃料は1日3ℓか、4ℓくらいいる。チェンソーで伐ると木のくずが出るわけよ。それが機械の中へ入るもんで、それをコンプレッサーでたまにきれいに掃除せんと、調子が悪くなる。
ワイヤーは木を引つ張りたり、つたりいろいろするわけよ。ワイヤーは傷がついて切れかけたやつは使っちゃいかん。使ったときに切れて頭の上へ落ちたり、積むときに切れて、機械が壊れたりするといかん。ワイヤーは常に傷のない新しいのを使うのがポイントやわな。安全面が一番大切や。
木を引き出す「引つ張りだこ」ちゅうのがあって、300kgくらいのものを引く力が出るわけ。で、長さが40mくらいあるワイヤーをつないで、引き寄せる。けど運び出すのがちょっとずつしかできん。今はユニボ(バックホー)にワイヤーがついとつて、滑車がついとつて、木を巻き上げるようなふうだわな。
キャタピラがついたのは、木を運搬する機械。あれにもワイヤーがついとつて引つ張れる。下りなら0.8から1立方メートルまで積めるのな。あまり急なところは滑るで危ないけどな。運搬機は、道のないところでも平らなら、山の中まで入つていけるで非常に便利だ。ちよつとした川のようなところは、木を並べて橋を作つて、多少軟らかくてもキャタピラがあるもんで動けるし。大事に使うとるで。
後はユニボだ。今のは2台目でキャタピラ

がゴムたわな、初めは鉄だったけどな。鉄の方が山にはむいとする。鉄の方が滑らんな。ユニボの場合は常に水平にして仕事をする。そうすると力が出るし、危なくないのな。技術につながるのは、安全にやることな。技術



引っ張りだこを使って木を引き出す

4. 植えて・育てて・利用する 生きた森づくり

手入れには枝打ちというもんがある。高いところの枝打ちは、梯子を使ってやる。枝打ちは柱が1本とれるくらいの範囲をやるから、大体4m位の高さまでだもんで、そのくらいの高さがありやいわけよ。それを1本の木に対して2回から3回やるわけよ。初めは15年くらいでやつて、それから25年くらいでやつて、その後35年くらいの3回の計画でやるわけよ。主にヒノキをやるわな。両刃の枝打ち鉋でよ。下からと上からとで節はきれいに落として、肉が巻き込むようにとるわけよ。家の内装材に使うような場合は、やっぱり手入れをしつかりして、節目が無くて木の目が細かい方が、丈夫で美しく見えるわけよ。

私の森づくりの目安っていうのは「植えて、育てて、伐つて、利用する」という、そういう生きた森づくりが基本。そうせんと手入れそ

のものも回らんし。木は、1回植えて20年、50年くらいたたんとき大きくならんもんで、長い目でいくというのがよ。

5. 共同経営 山の仕事も助け合い

とにかく木材の単価が上がつてこない、どうしようもない。木は国が補助してやれんから、100%自由貿易なんや。それで輸入品がどんどん入つてきて、その輸入と同じような値で日本の国産材も売ろうとするもんで、値が安くなる。多少高くしたいけど、外材の基本ベースに合わせて日本の結果も変わってくるわけよ。それに打ち勝つだけのいいものを作つていかんと、需要が伸びんわな。

それには「共同化して、コストを安くして、いいものを作る」ことに心がけておる。一つのブロック、一つの仕事をすることで30町歩くらい(約30ヘクタール)の規模でない。機械を買つても、人を頼んできてやつても、わずかこんだけの山にどれくらい立派な道を作つても多くの方々の山へ続いたら何にもならん。そういう意味で、30町歩の範囲をAさんもBさんもCさんも、同じ機械や道を利用してやるようなことじゃないと駄目なわけよ。国の政策もそういう風になつてかんと。それに対してはどんなだけの補助金出しますよと。その代わり「伐つた木を山に捨てとつちやあかんわけよ。利用間伐ちゅうて、出してきて、柱にしたり、材料にしたりして市場へ売りたい」と、ルールを決めて、システム化しないと。

こういう風に共同で林業経営に当たるといふことをこの将来は第1にする。個人の力ではどうにもならん。共同で施業をして、森づくりの励むつちゅうことやわね。作つた道は使つて、機械も使つて、何もかも使つて運営していくと一番ええのな。機械も使う、道も使う、人間も

働く。そういう循環で、だれもが生活できて、また後継者もできて、成果も現れるようになるわな。

6. 未来へつなぐ道 山は我が人生

木材の価格が低迷してるもんで、予定通りに木を売って、いろいろ買うとか生活するとか、そういうことが全くできんようになつちやつてるもんで、そういうことが一番つらいわな。1年や2年でそういうことになりやあきらめもつくけど、何せ50年も前からやつとつたことが、だんだん駄目になつていくちゅうことやもんで、やつぱしつらいわな。

怪我をしたこともあるし。チェーンソーで伐つた木が回つてきて、背中に当たつて、背骨が折れて入院になつて、1ヶ月くらいかかったこともあつたな。やけどだんだん慎重になつてくるし、年とつてきたもんで、無理はできんようになつたけど、怪我してもまたやる気が起きるちゅうことは、山が好きだちゅうことや。

将来はこれもやつぱり道をつけてよ、木を出すようにしたいとは思つてる。道をつけると山がものすごく良くなる。きれいになる。素晴らしい価値の出るもんだに、道づくりつちゅうもんは。どんな道を作るにしてもよ、人生の道だわな。道筋を作ることは初めはだれでも苦労するわ。一番初めに道を作る人は苦労するけど後から通つて行く人は楽だわの。ただ、年をとつてくるもんで後継者に渡しての、一生懸命やつてもらいたいちゅうことも、つのお願いだかの。

山が好きで熱心になれる。怪我をしても失敗を乗り越えても、挑戦して、木を植えて育てたいと、そういうことは思つてる。山は我が人生だ。



寺澤さんが切り開いた道

名人 寺澤 俊二さんのプロフィール

●生年月日：昭和15年3月5日生まれ

●職業：農林業

昭和33年以来、先代から承継した約20haの山林に植栽や保育を行い、80%を人工林にして育ててきた。

林業の効率化や低コスト化を図るために、早くからバックホウ等の機械を導入し、自らの作業で1000m以上の作業道を開設して、年間100〜120立方メートルの間伐材を「山岡木の駅」へ出荷しているほか「大栗林業クラブ」を結成し、恵南森林組合と連携して、地域の間伐等を進めている。

平成18年から恵那市の「恵那の森づくり推進委員会」の委員を務め、森づくりへの提言や木工工作材料の提供など、恵那市の進める林業施策の推進に協力している。

平成24年には、岐阜県林業経営コンクルの最優秀を受賞し、現在も地域の森づくりに活躍中である。

なお、聞き手の踏込龍生さんは、現在岐阜県森林組合連合会岐阜県産物共販所で活躍中である。

※原本は長文のため、文章の一部を割愛しています。

【森の名手・名人編集担当】

公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司

●ふとした疑問

よく切れるチェーンソーで伐木造材の作業を行うことは心地よく、しかも安全です。

教本では、切れる刃を付けるために「上刃切削角は、60度にする」とあり、そのためは、ヤスリ径の5分の1をカッターから上に出すこと」が記載されています。

(図-1) 本当にそうなるのか以前から疑問で、今回、作図と計算により検証してみました。

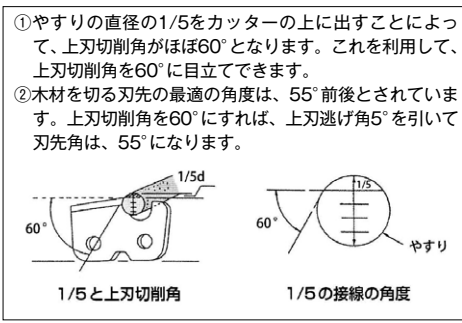


図-1 切削角を60度にするためのヤスリの当て方 (林業・木材製造業労働災害防止協会 2014 抜粋)

●作図して測ってみると

図-2の左側は径4・0mmのヤスリを直径の1/5だけカッターの上に出しこれに接線を引いたものです。

この角度を分度器で測ってみるとおよそ53度になります。また、右側は4・8mmのヤスリの例で、同じく53度くらいになります。

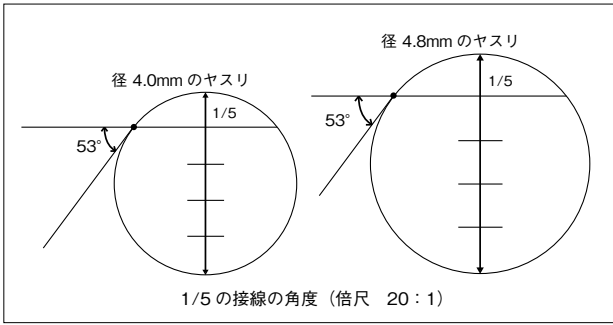


図-2 1/5の接線の角度

●計算して比較してみると

次に、円の方程式と接線方程式を使って接線の傾きを求め、角度を計算してみました。

いずれも接線の傾きを示すXの係数は4/3となり、三角関数のタンジェントを使って角度に直してみると53・13度となり、結果は作図でスケールアップした53度と同じになります。

●60度に仕上げるには

それでは、上刃切削角を60度にするにはどうすればいいのでしょうか。

ヤスリ径4・0mmの場合を想定し、計算により算出してみました。

求め方は、接点座標のYの値を求め、ヤスリ半径からこの値を引き、直径「4」と比べればわかります。

計算式は省略しますが、接線方程式は $\sqrt{X^2 + Y^2}$ 、接点座標は $(\frac{4}{3}X, Y)$ になります。

ヤスリ半径「2」からYの値「1」を引くと「1」となり、1mmがカッターから上に出ていることになりました。ヤスリ径は4・0mmですから、1/4

「ソーチェーンの目立て角を考える」

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ●池戸 秀隆

を出すと上刃に60度の角度が付く計算になります。これを基に作図してみると図-3のようになり、分度器で角度を測定するとピッタリ60度になりました。一般式による計算は、複雑になるのでここでは省略しますが、同じ結果が得られます。

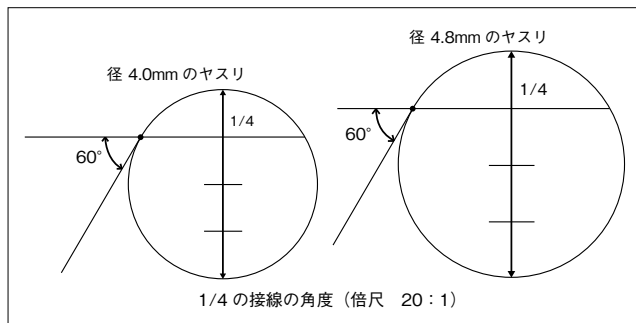


図-3 1/4の接線の角度

1/5でも1/4でもそんなに大差はなさそうですが、今までよりヤスリを上に乗ってきて目立てする感覚になります。本件に関しては今後とも慎重に検討していこうと思います。

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介します。

清流の国ぎふ地域活動支援事業 ～住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり～

平成29年度は、61の団体がそれぞれ特色ある事業を実施します。採択事業数は、6年間で延べ243件となります。

団体等名	事業名
ぎふし森守クラブ	ふれあいの森 森林教育・森林整備活動
三輪の里山を守る会	三輪の森づくり活動
岐阜県木育推進協議会	ぎふ木育指導者養成講座
Meets Vision	ぼくらと森のかけはしプロジェクト
長良・自然とくらし楽校	次代に引き継ぐ清流ぎふの文化を考える体験活動事業
森・川・海ひだみの流域連携協議会	森・川・海ひだみの流域活動と流域活動フォーラムの開催
長良川流域子ども協議会	長良川流域の子どもたちの交流を目的とした森・川・海の体験活動
長良川自然学校	長良川 川の学校事業
e-plus生涯学習研究所	「水と川と生き物のお話」～自然を楽しく知ろう「地球をめぐるしずくちゃんの旅」「生き物の旅」～
竹林救援隊	竹林の間伐と放置竹林を無くするための啓発活動
大桑の魅力PR会	森林内の登山を通じ歴史、生植物に触れ合う体験事業(古城山登山道周辺の安全・安心対策)
生涯里山学習園	里山再生プロジェクト(子供達とシルバーのふれあいの場所づくり)
四国山を守る会	四国山香りの森公園整備・植林・ふれあい体験事業
という	みんなの木育物語
山県楽しいプロジェクト	「やまがた」グリーンフィールドワークとワークショップツアー2017
本業林研クラブ	外山地域森づくり
ぎなんプレーパークの会	ぎなんで自然を体験しよう～プレーパーク～
ゆうすいの会	糸貫川環境保全プロジェクト事業
大垣市環境市民会議	ふるさと大垣環境教育事業
木の駅上石津実行委員会	山林保全と山林資源の有効活用
木曾三川子ども狂言クラブ	木曾三川子ども狂言プロジェクト
垂井地区まちづくり協議会	桜プロジェクト
ピープルズコミュニティ	ぎふ地球環境塾の開催
雲上の櫻 愛好会	池田町の宝樹 雲上の櫻を未来に残そう、増やそう!!
自然 生活共生会	「森と海は一つ」新しい森づくり、川づくり
山いきさの会	地域で里山環境を健全にする事業
グリーンウッドワーク協会	伐って、使って、植える 広葉樹の森づくりとグリーンウッドワーク事業
かえるっこくらぶ	郡上遊ぶ場(プレーパーク)づくり推進事業
みのかもアルプホルンクラブ	アルプホルンを吹こう
三和まちづくり協議会	みわまちづくりプロジェクト
木曾川左岸遊歩道友の会	木曾川左岸遊歩道等周辺整備事業
岐阜森林愛護隊	里山林保全活動
半布里の郷	富加の自然を守る里山整備活動
とみか創緑塾	里山活用管理システム構築パイロット事業
可茂森林組合	H29可茂南部100年の森林づくりプロジェクト【エコ薪】でCO ₂ 削減せよ!

団体等名	事業名
美濃白川どんぐり会	落葉樹林 植林・育成、河川環境保全事業
高山城高山宿史跡保存会	環境保全モデル林「土岐高山城跡の森」歩道階段整備事業
小里川ダム里山教室	2017秋の小里川ダム湖周ウォーキング
明日の稲津を築くまちづくり推進協議会	小里川流域における河川の清掃及び環境整備事業
奥矢作森林塾	峰地区における森づくりと担い手づくり活動事業
いいじ森の恵み活用塾	いいじ森の恵み活用塾～里山整備と木の活用
野井山造りの会	やろまい野井の山造り活動事業(H29)
里山を守る会武並	里山・みんなの森づくり事業(余水対策工事、第5期活動事業)
イワクラ里山倶楽部	里山の環境保全、資源の循環利用事業
吉田地域活性化委員会	すわがね自然体験事業
土岐川庄内川源流の森委員会	土岐川・庄内川の源流の森の資源、恵みを見つけて生かす取り組みと上下流の交流を通して森、川、里づくりと担い手を育てる活動
加子母むらづくり協議会	かしも学びの森 木の匠育成事業
ひるかわ里山活性化委員会	里山活性化事業
野上里山整備隊活動組織会	野上里山みどりの回廊整備事業
里山保全会	山之口里山保全事業
竹原東部森林造成組合活動組織	竹原東部里山整備事業
中切区里山環境整備活動組織	中切区里山整備事業
森のなりわい研究所	森林に対する市民意識調査
保養地の山を良くする会	美しく楽しい四美の森づくり
飛騨高山わらべうたの会	ぎふ木育広場の運営・木育活動推進事業
二本木生産森林組合	飛騨高山「彦谷の里」里山活用と広葉樹林育成事業
森守クラブ 合同会社 まつぼっくり	里山の資源を活用した里山づくりの研究
活エネルギーアカデミー	岐阜の自然を守る活動事業 木の駅プロジェクト
森林資源活用フォーラム	飛騨地域におけるアロマ資源の活用及び小規模林業の試行
高山南の森保全の会	高山南エリア里山林整備事業
ひだの未来の森づくりネットワーク	フリーマガジンと協働した森林に関わる情報発信活動



吉田地域活性化委員会(チェーンソー講習会)



長良・自然とくらし楽校(天神川の生きもの調べ)

本巢林研クラブ



●これまでの歩み

旧愛林クラブの精神を受け継ぎ、昭和50年に新たに『本巢町林研クラブ』として発足し、『本巢林研クラブ』に改称し、現在に至っています。
今回、私たち本巢林研クラブの活動のうち2つを紹介します。

●外山小学校の総合学習

毎年3〜4年生の総合学習の時間に、年に5〜6回実施しています。いずれの時間も4年生が前年の経験を活かし、3年生を上手にリードしている姿は見ていて頼もしく、またほほえましく感じます。

1. シイタケ菌打ち

授業時間に合わせてクラブ員が穴を開けて準備し、授業開始時に菌の詰め方を説明します。コマ菌とオガクズ菌を用いて行っています。



▲安全に配慮した枝打ち体験。

2. 山のはなし

NPO法人森のなりわい研究所の伊藤栄一さんと一緒に実施しています。先生は『糞博士』の異名をとり、糞から動物の食性が判る話や、鳥や動物の特徴等の話を、ユーモアをまじえ解り易く話され、子どもたちが引き込まれる姿は見ていて楽しく、大人も勉強になります。

3. 下刈り・枝打ち・間伐実習

木を育てるには、下刈り、枝打ち、間伐等の手入れが重要であることを説明し、比較的安全な枝打ちや間伐を体験し、下刈りは道具等の説明を行っています。

4. 植樹、丸太切り

学校の裏山である『コボ山』に植樹するとともに、伐り出した直径6〜7cmの木を、厚さ0.5〜1cmにノコギリで切り、児童の発案で11月に行う『ふれあい祭り』のコースター等に使っています。

5. キノコ料理

包丁の使い方、材料による切り方の指導等を行い、出来上がった炊き込みご飯等を先生と児童が大変おいしく食べています。

6. ツリークライミング

『ツリークライミングクラブ® 橙』の上田康美さんに依頼し、校庭の銀杏の木を利用して、2年に1回実施しています。児童がとても期待している行事の1つです。昨年は、準備の様子を1年生が目丸くして見入っていた様子が印象的でした。



▲大人気のツリークライミング体験。

●岐阜農林高等学校の間伐実習

午前は林業の変遷、間伐の目的、安全作業等について講義し、午後は実習としています。チェーンソーの使用経験のない生徒もおり、間伐対象林が利用間伐に入っている樹齢30年位の杉である条件に合わせて、倒木は林研クラブ員が行い、チェーンソーの使い方の説明後に丸太切りと枝払いを実施しています。安全第一で、時に厳しく注意指導する子もあります。毎年女子生徒も実習に参加していますが積極的に取り組んでいます。



▲高校生の間伐実習。女子生徒も積極的です。

●最後に

当クラブの活動の一部を紹介しました。クラブ員の高齢化による活動の変わりが心配ですが、地域に根差した活動を目指し、外山小学校の総合学習、岐阜農林高校の実習はこれからも継続したいと思っています。

【本巢林研クラブ 会長 浅野宣】



施設全景

施設概要

事業年度	平成28年度
事業主体	社会福祉法人 池辺育心会
構造・ 延床面積	鉄骨2階建て 延べ床面積 319.29㎡
施設用途	保育園
木材使用量 使用樹種	3.21㎡ (床、腰壁の内装) ヒノキ 2.56㎡ (床材) スギ 0.65㎡ (腰壁材)
全体事業費	119,340,000円
助成額	ぎふ森林・環境基金事業 (木の香る快適な教育施設等整備事業) 1,700,000円
設計者	株式会社 野崎設計
施工業者	株式会社 大橋組
工期	平成28年9月30日～平成29年3月10日

施設の経緯

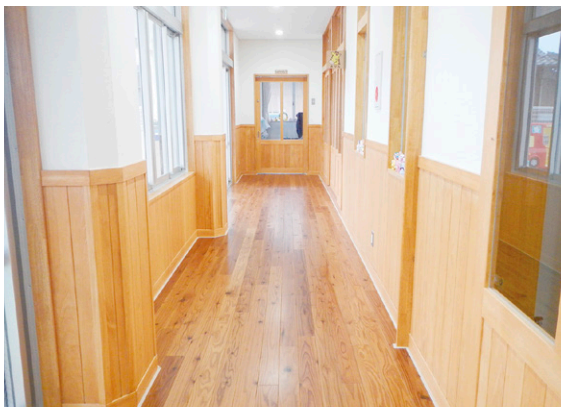
池辺保育園の園舎のうち1棟が50年以上経過し老朽化したため、建て替えることにしました。建て替え後の園舎には、遊戯室、保育室に加え、職員室、厨房も設置することから、広さを確保するために鉄骨2階建てとしました。内装は、子どもたちの保育環境を考えて、床と腰壁を中心に岐阜県産木材(ぎふ証明材)を使用しています。



2階遊戯室



保育室で遊ぶ園児



1階廊下の様子

ここに注目!!

- 床には、スギ圧縮木材を使用しました。

利用者の様子

- 木に囲まれた保育室・遊戯室で元気いっぱいにご過ごしています。

■問い合わせ先
社会福祉法人 池辺育心会
TEL 0584-37-2106

ぎふの木を使った家づくり支援制度のご案内

～県外住宅の申請受付を開始しました!～

岐阜県では、安心・安全な家づくりに県産材を積極的に利用していただくため、新築の際、柱や梁など構造材に「ぎふ性能表示材」を一定量以上使用する建築主に助成を行っています。平成27年度より県内に加えて、県外の新築住宅にも助成を行っており、平成29年度は昨年度より募集棟数を10棟拡大し、5月10日(水)より受付を開始しました。

詳しくは、県のホームページに、応募状況、申し込み条件、必要書類等を掲載していますので、ご確認ください。 [ぎふの木で家づくり](#) [検索](#)

■ぎふの木で家づくり支援事業(県外) 概要紹介

助成額	20万円
助成対象	建築主が居住する、県外に新築予定の戸建て木造住宅
岐阜県産材の使用条件	<ul style="list-style-type: none"> ●構造材※1に「ぎふ性能表示材」を80%以上使用 ●横架材※2に「ぎふ性能表示材」を6㎡以上使用 ※1：構造材＝土台、束、大引き、柱、梁、桁、胴差し、母屋、棟木、隅木 ※2：横架材＝梁、桁、胴差し、母屋、棟木、隅木
その他条件	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の工務店(支店、営業所でも可)が施工すること ●構造材や内装材に対する他の補助金、又は利子補給を受けていないこと ●住宅施工者等による見学会を平成30年2月末までに実施すること
申請先	岐阜県庁 県産材流通課
募集棟数	30棟(先着順)
受付期間	平成29年5月10日(水)～平成30年2月14日(水) ※上棟の14日前までに申請して下さい。 ※募集棟数に達し次第、締め切りとなります。

●平成28年度の見学会の様子



【県産材流通課 山田 純司】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課 消費対策係まで



恵那峡を中心とする溪谷美

恵那峡県立自然公園

■所在地: 中津川市・恵那市 ■面積: 1,505ヘクタール ■指定年月日: 昭和29年9月14日

□概要

木曽川に迫る自然の断崖絶壁、屹立する奇岩、峡湖周辺の山林とともに、清澄な湖水のこぼれ出す美しい自然の景観が見られます。

□歴史、文化

大正9年、世界的な地理学者、志賀重昂によって恵那峡と命名されました。その後、電力王・福沢桃介が水力発電に絶好の地形と豊富な水量に着目し、大正13年に日本初のダム式発電所である大井ダムを完成させました。ダム完成までこの付近の木曽川は大岩のごろごろした急流でしたが、ダムによってできた湖周辺は奇岩、怪石の立ち並ぶ景勝地となりました。

□見どころ

●恵那峡ダム湖

恵那峡ダム湖の奇岩・怪石をめぐる遊覧船、ダム湖右岸にあるさざなみ公園の散策路、樹齢400年以上と言われるフジなど、様々な見どころがあり、温泉宿泊施設も充実しています。

また、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は水鳥が集まる湖面と、四季を通じて様々な景観を楽しむことができます。特に、春には、恵那峡大橋北向きの岩壁にツツジ科のアカヤシオが咲きます。この地域にアカヤシオは珍しく一見の価値あります。



【環境企画課】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 環境企画課まで



山のおじゃまむし



— 笑い話から一転して、クログンゴロウ — 【第311回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

私は某ダム環境保全検討会の委員をしている。その開催通知が来た。事前調査資料にはダム造成地近くの休耕田を利用して人工湿地を作り、ゲンゴロウなど水昆虫の生息状況を調べているという。面白い試みだ。その内容を知りたいと思った。というのは私自身、長年このことに興味を持っていたからである。それは徳山ダムでの経験。9年前徳山ダムが完成し、集落が湖底に沈んだ。この時、これで徳山の里山環境に生息していた昆虫たちは消滅する、と私は思った。ところがそうではなかった。オオムラサキである。里山の代表種ともいえるオオムラサキはダムが出来る前は集落周辺だけに生息し、山の上部には生息していなかった。それが完成すると山頂付近で見られるようになった。しかも秋にはここで越冬している幼虫を確認したのである。人家周辺からここへ移動してきた。間違いないと確信した。オオムラサキにこのような適応力があることに驚くとともに、他の昆虫類も同じではないか、だから昆虫類は厳しい環境変化に対応して生き続けているのだと思った。しかし、疑問も残った。湿地に生息している昆虫類だ。湿地がなくなれば、当然消滅してしまう。このことが長い間気になっていたのである。

× × × ×

会場のある名古屋市へ向かった。地下鉄に乗った。途中でお婆さんが乗車されたので席を譲った。「お兄さん、ありがとう」この言葉に思わず笑えてきた。自分にはお兄さんという呼び名は死語だと思っていたからである。しかし、悪い気はしなかった。電車を乗り換えた。今度は空席無し。立っていたら子供連れの婦人が「どうぞ」と言って席を空けられた。その時、子供に「おじいちゃんには席を譲ってあげようね」とやさしく話していた。今度はお爺ちゃんか、とまた笑えてきた。ここまでは笑える話であったが、この後は一転して胸の痛む話となった。会場では久しぶりにOさんに会った。83歳の今でも鳥類を調査し、会議では良識ある意見を言われる方である。このOさんとは20年前から委員会などで顔を合わせ、夜は酒を飲みながら話したこともある。しかし、今日はいつもと違う。顔色が悪いのである。「体調が悪いのですか」と軽い気持ちで話しかけた。Oさんは「肺がんで、余命6ヶ月と宣告されています」。「え!」私は返す言葉がなかった。会議が始まった。

× × × ×

ダム予定地には湿地があり、貴重なゲンゴロウなどの昆虫類が生息している。しかし、ダムが出来れば湿地は消滅してしまう。そこで、ここの昆虫を誘導するため休耕田を利用して人工湿地を造ったところ、すでにクログンゴロウ等のゲンゴロウ類が生息し始めたという。よい方法だと思った。これらのゲンゴロウは岐阜県にも生息しているが、数が少ない。いずれ保護対策が必要

になるかも知れない。その時はこの方法を試みる。よい情報を得たと思った。もっと詳しく聞きたかったが、質問などはしなかった。目の前にいるOさんを見ると気の毒になり、そんな気になれなかったのである。いつも意見を言われるOさんも発言されなかった。その胸中を察すると胸が痛くなった。Oさんを見ているうちに、10数年前の委員会のことが思い出された。その日は猛暑であった。とにかく暑かった。そんな時Oさんが「水を出してもらえませんか」。「あと少しで休憩時間ですので、それまで待ってください」と事務局。Oさんは「あなた方は公費で接待や飲み食いしているのに、水が出せないのですか。私はビールを出せと言っているではありません。水道の水でよいのです」と語気を荒げることなく、おだやかに話された。その後、すぐに冷たい麦茶が出てきた。この時の光景が目に残った。



▲ハイロゲンゴロウ

× × × ×

帰路、Oさんと歩いて駅に向かった。その時の会話。「おそろくこれが野平さんと話すのが最後でしょう」。私の胸に槍が突き刺さったようだった。返す言葉がなかった。さらにOさんは「人間誰しも寿命がある。今はこれが私の寿命だと思っている。むしろこれだけ生きられたことに感謝している」。「強い精神力ですね。自分だったら絶えられません」。「いや、違います。宣告されたときは頭が真っ白になり、気が狂いそうでした。気力が萎え、何もできませんでした」。「誰だってそうなりますよ。」その後、医療雑誌やネットなどで最新の治療方法などを調べたところ、肺がんによく効く新しい治療薬が開発されていた。主治医にそのことを話すと「この治療薬は数千万円と高額です。貴方の場合、この薬で寿命がどれだけ延びるかはわかりません」。Oさんは3年、いや2年延命できるのなら治療を受けようと思ったという。しかし、一方ではこれだけのお金を投じても効かないかも知れない。むしろ子供たちに残してやればという気持ちもあるという。こんなことまで話された。名古屋駅についた。別れ際にOさんは笑顔で「今度は天国でお会いしましょう」と言われた。またまた、返す言葉がなかった。手を振って別れた。しばらくして、奇跡、奇跡的という言葉が頭に浮かんできた。Oさんが奇跡的に——となるように祈った。



北方町の環境のまちづくり

北方町の環境施策を紹介します。



北方町では、平成24年に開催された「ぎふ清流国体 ぎふ清流大会」を契機として、第6次総合計画におけるまちの将来像「活力に満ちた住民主役のまち 北方」を基本理念に、小さくてもキラリと光るまちづくりの実現に向け、平成25年1月、「わがまち清流の国ぎふづくり基本計画」を策定しました。平成30年度を目標期間に定め、各種事業を行っています。ここでは、森林環境に係わる主な事業を紹介します。

ぎふ木育ひろば

北方町内の二施設(北方町庁舎・北方町立図書館)に「ぎふ木育ひろば」を設置しました。

「ぎふ木育ひろば」は、「いつでも、だれでも、木育を」を合言葉に、多世代が交流する施設に県産材で作られた家具やおもちゃを常設することで、日常的に岐阜の木とふれあい、木の温かみを知り、木と親しむことを目的としています。

北方町庁舎の「ぎふ木育ひろば」は県内産のヒノキ及びスギ等を使用したおもちゃ「積み木セット」「木製クルマ」「磁石付きブロック」「キャスター付き収納箱」を設置しました。

また、県産材ヒノキ合板を使用したベンチや県産材スギを使用した可動式本棚

を整備しました。

「ぎふ木育ひろば」で県産材を使用したおもちゃ等を通じて、親子で楽しい時間を過ごしてみませんか。



▲ぎふ木育ひろば



▲ぎふ木育ひろばのベンチ



▲ぎふ木育ひろばのおもちゃ

きたがた環境フェア

北方町内を流れる一級河川「糸貫川」の環境保全活動の一貫として、また糸貫川流域全体の住民の環境保全への意識の高

揚を図る目的で、平成27年9月5日及び平成28年9月3日に開催しました。

地域住民、環境保全団体や上下流域の瑞穂市・本巣市と連携し開催した「きたがた環境フェア」には、大勢の来場者にイベントの主旨を理解してもらうことができました。

28年度の「きたがた環境フェア」では、糸貫川流域の上下流域の市町や県との連携により、地域の団体や企業、商店による環境学習のワークショップや展示コーナーなど、多くのブースが出版されました。また、岐阜農林高等学校演劇部の演劇上演やマスのつかみ取りなど楽しいイベント盛りだくさんで、会場は大勢の来場者で賑わいました。



▲きたがた環境フェア①



▲きたがた環境フェア②

ゆうすいの会

北方町内の河川を主な活動場所とし、河川清掃、河川調査、河川の環境整備や河川に関するイベント出展などの活動を行っている団体です。

行政主導ではなく住民が主体となった河川環境保全団体が、自ら活動し情報発信をすることで、地域住民が情報をより身近に感じ、受け取り、自発的な環境保全活動を促す事が目的です。

平成28年度は、河川等の定期清掃、河川美化運動、きたがた環境フェア、未来タウン北方ふれあいまつりへの参加、蛭観賞会の開催等を行い、河川環境保全を推進しました。



▲ゆうすいの会の河川清掃活動

未来に亘って継続的に河川環境の保全が図られるよう、また、上流と下流の架け橋となれるよう、今後とも、諸施策及び事業の計画、実行、見直しを行っていきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-323-1114

北方町役場 都市環境課まで

森林整備推進協定(森林共同施業団地)の

取組について

岐阜森林管理署 主任地域林政調整官 大島 愛彦

国有林が民国連携の「本丸」として取り組んでいる「森林整備推進協定」また「森林共同施業団地」をご存知でしょうか。

森林管理署では県(農林事務所)や市町村、森林所有者等と「森林整備推進協定」を締結し、協定に基づき国有林と民有林が協調して路網整備や森林整備を進める区域を「森林共同施業団地」に設定しています。

森林整備推進協定は岐阜県内に5事例あります。協定締結順に並べると次のとおり。(カッコ内は協定締結日)

- ① 高山市一色・山中山地域森林整備推進協定 (H23年3月29日)
- ② 東白川村新築地域森林整備推進協定 (H24年3月2日)
- ③ 中津川市加子母地区森林整備推進協定 (H24年3月27日)
- ④ 下呂市小坂町北東地区森林整備推進協定 (H26年3月24日)
- ⑤ 七宗町上麻生地区森林整備推進協定 (H27年3月24日)

協定締結後は森林整備実施計画書を作成し、関係機関による運営委員会をはじめ、現地で民国連携した路網の整備・利用、システム販売による協調出荷などの取組を行っています。

ここでは5事例のうち、岐阜森林管理署が担当する東白川村、下呂市、七宗町の森林整備推進協定の取組を紹介します。

東白川村新築地域 森林整備推進協定

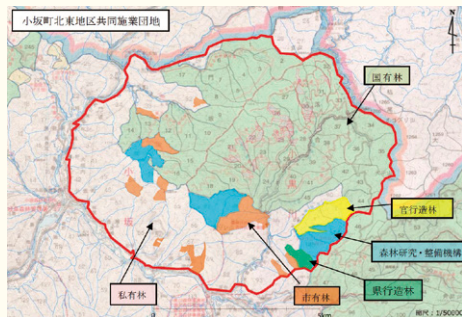
岐阜森林管理署、可茂農林事務所、東白川村、東白川村森林組合の4者で協定を締結していますが、国有林部分は岐阜森林管理署とサントリーホールディングス株式会社(以下、サントリーHDとします。)が社会貢献の森協定を締結し、村有林部分は東白川村、県、サントリーHDの間で生きた森林づくり協定を締結していることから、サントリーHDを含めた5者で「天然水の森ぎふ東白川」をテーマに水源涵養機能の高い森林づくりを行っています。



▲運営委員会の様子(東白川村)

下呂市小坂町北東地区 森林整備推進協定

岐阜森林管理署のある下呂市小坂町において、岐阜森林管理署、下呂農林事務所、下呂市、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター岐阜水源林整備事務所(以下、岐阜水源林整備事務所とします。)、小坂町森林組合の5者で協定を締結し、間伐を中心に森林整備を行っています。今後の課題として、連携をより一層具体化し、林業の町小坂のモデルになるような取組を進めます。



▲森林共同施業団地位置図(下呂市)

七宗町上麻生地区 森林整備推進協定

岐阜森林管理署、可茂農林事務所、七宗町、七宗町上麻生財産区、岐阜水源林整備事務所、公益社団法人岐阜県森林公社、可茂森林組合の7者で協定を締結し、本誌4月号で紹介したとおり、平成28年度からこの森林共同施業団地を林野庁のケーススタディ地区に設定しています。

連携事例として国有林から民有林に抜ける林業専用道を森林組合が開設し、民有林の木材生産が動き始めました。昨年度は生産性向上実現プログラム、有利採材現地研修会、タワイヤード研修会、システム販売による協調出荷、ニホンジカ食害防除対策検討会、職員による捕獲、シカ対策試験地の設営など様々な取組を行っています。



▲民国連携 林業専用道(七宗町)

新規協定の締結に向けて

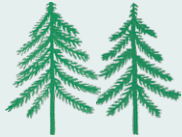
飛騨川流域は前述のとおり3箇所まで協定を締結していますが、長良川流域と揖斐川流域では締結事例がありません。これらの流域では国有林が少ないことが理由として挙げられますが、面積の大小にかかわらず、国有林と連携して森林整備等を行いたいという希望がありましたら積極的に調整しますので、岐阜森林管理署までご連絡ください。平成29年度の目標として、長良川流域もしくは揖斐川流域で新規の森林整備推進協定を締結したい。協定に至らなくても民国連携事例を作りたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 050-3160-6090(代)

岐阜森林管理署まで



東濃地域における 森林整備推進のための林業事業体支援



■東濃農林事務所林業課

林業普及指導員 藤井 敦

東濃地域の森林の状況

東濃農林事務所管内は多治見市、瑞浪市、土岐市の3市からなり森林面積は24,343haで森林率は約64%になります。そのうち民有林の人工林率は約44%と県内平均の約45%と比べても遜色ない数字ですが、その中には、戦前戦後のはげ山復旧事業等によるマツ類が多く含まれています。そのマツ類も現実はマツ枯れにより天然林に更新されており、木材生産が行えるヒノキ、スギに限れば人工林率は約23%になります。また、この地域の特徴として、人工林におけるヒノキの割合が9割を占めていることが挙げられます。

また、スギ・ヒノキ人工林は、土岐市の南部や瑞浪市に偏っており、小面積で点在して分布しています。林齢構成は10〜12齢級がピークで他の地域に比べて若いこともあり木材生産(利用間伐)が可能な森林は限られています。

地形的にはなだらかな丘陵地帯が多いものの、地質は主に土岐砂礫層で、瑞浪市、土岐市南部には道づくりが難しいマサ土もあります。

林業事業体

東濃農林事務所管内で木材生産が可能な主な林業事業体は、陶都森林組合、(有)ヤマエス日比野林業、(株)山田林業です。平成28年度は3社で約12,500m³の素材を生産しました。その内、陶都森林組合は、素材生産量の約7割を占めています。

森林整備を推進するため、東濃農林事務所の支援内容を紹介します。

1. 陶都森林組合

瑞浪市に事務所を構える陶都森林組合は、組合長以下11名で、近年は搬出間伐を中心に行っている組合です。また新たな取り組みとして平成28年度は約5haの皆伐を実施し、平成29年度にヒノキコンテナ苗と広葉樹の植栽を予定しています。来年以降も計画的に皆伐・再造林を実施する予定です。

陶都森林組合への支援内容は次のとおりです。

(1) 定例会の開催

毎月情報共有、進捗管理等のため組合職員で定例会を開催しており、毎回農林事務所職員3名がアドバイザーとして出席し、支援し

ています。

定例会では、以下に述べる四つの議題に対して情報共有、議論を行ってききました。

① 事業の進捗管理

事業や補助金事務の進捗状況確認を行っているため、計画的な森林技術者の配置、補助金の執行が行われています。

② 人材の確保

今後の皆伐・再造林の拡大に取り組むため、職員の補強が必要と考え、平成28年度には、組合職員の新規採用に当たり、各方面から就職希望者についての情報収集、調整を行った結果、平成29年4月に職員1名が採用されました。

③ コスト管理

今後の皆伐事業のコスト管理の参考にするため、平成28年度に実施した約5haの皆伐事業地のコストを整理・分析し今後の施策に反映させるため資料のとりまとめを行っています。

④ 施策方法

陶都森林組合では、コスト削減のため搬出間伐において2残1伐の列状間伐を行っています。次回間伐の施策方法について検討を行う予定です。

また、右記の議題へのアドバイス以外の技術支援として、既設作業道の状況調査結果から、壊れにくい作業道開設及び施業終了後の管理方法の提案や、コンテナ苗研修開催等を農林事務所から提案実施しました。



▲森林組合定例会議

(2)皆伐・再造林事業地のニホンジカ対策

平成28年度に実施した約5haの皆伐地で、平成29年春植栽に当たり、近年全国的に増加しているニホンジカ対策の調査・検討を支援しました。

平成28年4月には岐阜県森林研究所の協力を得て現地の野生動物生息調査を行い、ヒノキ



▲監視カメラ設置

の樹皮剥ぎ、ササの食痕、ニホンカモシカのため糞の確認が出来ま

した。また、現在の加害獣の生息状況確認の為農林事務所鳥獣被害対策専門指導員の協力を得て監視カメラを設置し、ニホンカモシカの姿を撮影出来ました。また、カメラ設置時には残雪に印されたウサギの足跡も確認出来たことから、ニホンカモシカ、ウサギへの防護対策の必要性が確認出来ました。今後も皆伐予定地での監視カメラの設置、調査を実施し、陶都森林組合へ情報提供を行う予定です。

2.(有)ヤマエス日比野林業

瑞浪市の(有)ヤマエス日比野林業は、社長以下4名で組織し、主に素材生産を行っている林業事業体です。



▲枝条を敷いた作業道管理状況

同社は、切り盛りの少ない壊れにくい道づくり、残存木に傷をつけない丁寧な施業を行っています。道については施業後に丸太を使用した横断溝の設置、枝条敷設等を行い、次回施業時に補修コストが少なく使用できるよう丁寧な道の管理を行っています。

平成28年度には30才代の若い森林技術者を雇用し、将来に向けた

会社作りを行っています。農林事務所は、定期的に訪問し事業の進捗状況の確認、森林経営計画の実行管理、新規及び拡大計画について支援を行っています。

3.(株)山田林業

多治見市の(株)山田林業は、社長以下22名で組織し、主に開発地の伐採、チップ製造販売等を業務とする会社です。



▲プランナー研修生森林調査支援状況

開発地等の伐採は景気や公共事業の予算に左右されやすいことから、平成28年度から森林整備事業にも事業拡大を検討され、手始めに会社の所在する地元で森林経営計画を1団地作成し、プロセッサも購入されました。

また、人材育成として20代の森林技術者を、施業プランナー育成研修に参加させ、彼が中心となり新たな森林経営計画の作成を予定しています。

この施業プランナー育成研修の課題である森林経営計画の検討に際し、現場調査、調査資料の取りまとめ、森林所有者との調整の支

援を行いました。今後も、新人施業プランナーの新たな森林経営計画作成を支援する予定です。

今後の課題

森林組合や林業事業体が安定して事業を継続していくには、さらなる森林経営計画の作成と、着実な実行管理が必要です。プランナー本人と事業体の主体性を重視しつつ農林事務所では必要に応じて助言を行います。

今後の県産材需要の増加に対応するため、木材の増産が急務であります。また、第3期岐阜県森林づくり基本計画の新たな取組として、100年先の森林づくり実現のため、主伐・再造林の拡大が掲げられました。各事業体には、将来の目標林型を考えて、財産価値を高める丁寧な施業方法を検討する等、財産管理者としての自覚を持つて取り組んで行くことが必要と考えます。森林所有者の立場での森林づくりを考えながら、東濃地域の特徴である都市近郊林として求められる多様な機能が発揮できる森林整備を進めていきたいと思ひます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0572-1231-1111内線261

東濃農林事務所まで

天然更新を計画するときの留意点

〜競合植物に気をつけましょう〜

森林研究所 ● 久田 善純

はじめに

森林の更新方法のひとつに天然更新(※1)があります。

この方法を適用するときは、林床の植生や土壌の状態、種子の供給源となる母樹との位置関係、獣害の有無など様々な点を考慮し、実施箇所に適しているかを、慎重に判断しないといけません。

ここでは、天然更新を妨げる「競合植物」に関する留意点について、県内の試験事例を踏まえて紹介します。

ヒノキ林の皆伐後に天然更新の試験を行いました

郡上市にある約50年生のヒノキ人工林において、H23年春に皆伐と前生樹(下層木)の刈り払いを行い、跡地への樹木の侵入状況を調査しました。

また、皆伐前と、皆伐後5年半経過時(H28年秋)の、地上高1・2m(胸高)以上の樹幹数を調査しました。なお、樹幹数は、ひとつの個体(株)から複数本

の幹が出ていた場合、それぞれを1本として計上しました。

シロモジとヒサカキの萌芽が高木性種と競合しました

皆伐後5年半経過時の高木性種の個体数は13,000本/ha以上ありました。しかし、低木性種のシロモジ・ヒサカキと競合したことが原因で樹高成長が抑えられ、岐阜県の天然更新完了基準(※2)を満たさず高木性種の個体数は、1,875本/haに留まり、更新完了とみなせませんでした。

シロモジとヒサカキは前生樹として存在し、皆伐前の樹幹数の合計は約5,600本/haでしたが、皆伐後5年半経過時には、皆伐前の6倍近い約32,000本/haに増加しました。このうち萌芽由来の樹幹数は約30,000本/haあり、林地全体の樹幹数の約8割を占めていました(図)。

皆伐と同時にを行った刈り払いにより、この2樹種の萌芽成長が促進され

(写真)、高木性種との競合に勝つたと考えられます。

天然更新計画時の留意点

前生樹のなかに萌芽力が強い低木性の競合種が存在する場合、それらの萌芽によって高木性種が被圧される恐れがあるため、更新期間中に「刈り出し(※3)」を計画する必要があります。

なお、天然更新は、高木性種等の別と更新状況を判断する知識を活用し、状況に応じた施策が求められる方法です。森林の更新を計画するときには、人工造林も選択肢に入れて、確実な更新方法を選んでください。

(※1)天然更新

自然に落下した種子から発芽した稚樹や、伐根からの萌芽を成長させて、森林を更新する方法です。

(※2)天然更新完了基準

「更新樹種は高木性種であること」、「更新樹種が高さ50cm以上かつ競合植物の高さ以上をもって3,000本/ha以上成立すること」と定められています。

(※3)刈り出し

更新樹種(高木性種)を被圧している周囲の競合植物を刈り払う作業です。

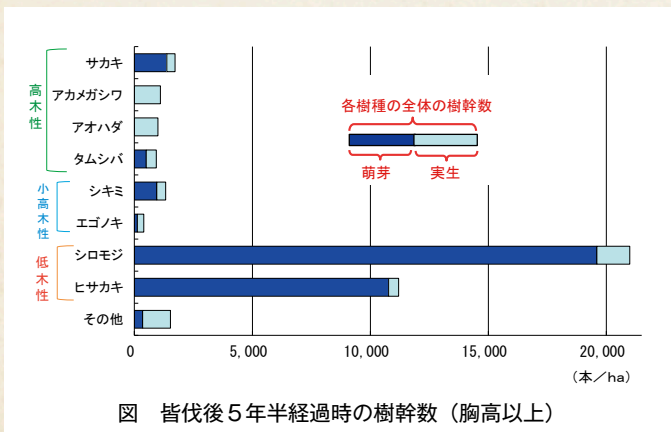


図 皆伐後5年半経過時の樹幹数(胸高以上)



写真 萌芽により繁茂したシロモジの様子

詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-333-2585

森林研究所まで

治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会（本誌763号18～19ページ）で発表された研究課題を紹介します。

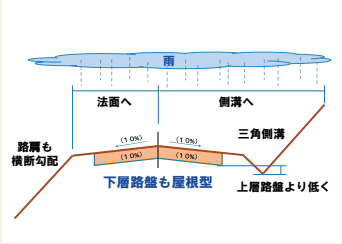
欧州に学ぶ安価で丈夫な道づくり

飛騨農林事務所林業課 中谷和司

林業先進国であるドイツで行われている安価で丈夫な道づくり（屋根型構造）を、平成23年度にたかやま林業・建設業協同組合が、高山市清見町の県営林で開設しました。開設にあたっては、岐阜県がドイツから招聘したフォレストラーおよび作設オペレーターの直接指導を受けました。開設後5年が経過した状況を踏まえ、数多い技術の中で災害の原因となる水の処理方法について紹介します。

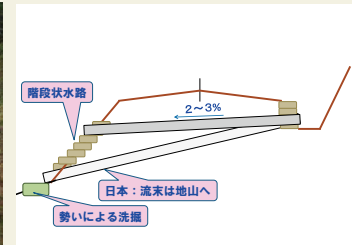
屋根型構造の道

土は水を含むと柔らかく、乾くと硬くなります。また水は集中したり、流れに勢いが付くと威力を増します。丈夫な道づくりをするには、路面・路体に雨水等を浸み込ませないよう速やかに排水すること、雨水を集中させることなく勢いを



弱めて林地内に還元する分散排水が重要です。その機能を持たせた構造が、路面中央部を高くしたいわゆる屋根型構造です。（図-1）こうすることにより、雨水が盛土法面と素掘り側溝へ半々に分かれて分散排水されます。ここで重要なことは、雨水を横断方向に分散排水させることなので、横断勾配は縦断勾配より急にすることです。

側溝の横断排水は管渠で行いますが、ポイントは流末処理で、流速を抑えて地山に誘導することです。管渠は2～3%で敷設しますが、流末が土羽面になった場合は、雑石



に水路を作り、流速を抑えて地山まで誘導します。（図-2）管渠の吐口を盛土法尻の地山に合せて設置した場合、敷設勾配が急になり流速を速めて排水することとなり、地山浸食の原因になります。また、横断排水の間隔は、30～50mが目安です。

写真-1は、平成23年に開設した伊西3号線です。

降雨時の状況

写真-2は、強雨時の状況です。路面水は、縦断方向へ流れることなく分散排水されており、盛土面の浸食もありません。

写真-3は、横断排水の呑み口の状況です。

側溝からスロープを付け、柵の大きさも維持管理しやすいようにパケットの大きさにしてあります。5年経過しています。26年豪雨災害の時も閉塞はしていません。これは、横断排水間隔が60mで、縦断勾配も7%と緩やかなことから、側溝の流量・流速



詳しい内容を知りたい方は
TEL0577-331-1111内線4902
飛騨農林事務所まで

写真-4は、流末です。管渠の敷設勾配が3%と階段状の水路のため、流速が抑えられて地山へ排水されているため、地山の洗掘はありません。

写真-5は、常水がほとんど無い小渓流の横断排水の呑み口です。

通常、管渠の呑み口は流心に設置しますが、あえて少し離れたところに設置します。これは、勢いよく流れ込んできた濁水が石積壁にあたることで流速を抑え、混流物を沈殿させてから排水する仕組みです。水衝部、沈砂域、静水域の機能を持たせた呑み口構造のため、φ300の管渠でも閉塞したことはありません。



平成29年度

狩猟免許試験と免許講習会のご案内

狩猟や有害鳥獣の捕獲に必要な狩猟免許の試験と受験される方を対象とした無料の講習会を実施します。

平成29年度狩猟免許試験

■試験の日時及び場所等

日時	場所	免許の種類	申請書の受付時間
7月13日(木) 9:30~17:00	可茂総合庁舎大会議室(美濃加茂市古井町下古井2610-1)	全て	6月15日(木)~6月29日(木)
8月5日(土) 9:30~17:00	飛騨・世界生活文化センター(高山市千鳥町900-1)	全て	7月7日(金)~7月21日(金)
9月9日(土) 9:30~17:00	岐阜大学応用生物科学部棟(岐阜市柳戸1-1)	全て	8月10日(木)~8月25日(金)
11月25日(土) 9:30~17:00	中濃総合庁舎大会議室(美濃市生櫛1612-2)	全て	10月27日(金)~11月10日(金)
12月13日(水) 9:30~17:00	恵那総合庁舎大会議室(恵那市長島町正家後田1067-71)	わな猟	11月15日(水)~11月29日(水)

■狩猟免許の種類

免許の種類	使用できる猟具
網猟免許	網(むそう網、はり網、つき網、なげ網)
わな猟免許	わな(くくりわな、はこわな、はこおとし、囲いわな)
第一種銃猟免許	装薬銃(ライフル銃・散弾銃)、空気銃(圧縮ガス銃を含む。)
第二種銃猟免許	空気銃(圧縮ガス銃を含む。)

■手数料 試験の新規受験者 免許1種類につき5,200円

狩猟免許取得者が別の狩猟免許を取得しようとする場合 免許1種類につき3,900円

■受験対象者 岐阜県内に住所を有し、網猟及びわな猟にあつては18歳以上、第1種銃猟及び第2種銃猟にあつては20歳以上の者

(鳥獣保護管理法第40条第2号から第6号の規定に該当する方は受験できません。)

■提出書類 岐阜地域環境室又は各県事務所環境課、環境企画課で配布しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenhogo/c11265/syuryo.html>からダウンロードすることもできます。

■提出先 住所地のある岐阜地域環境室又は各県事務所環境課

平成29年度狩猟免許講習会

講習の受講は希望者のみ。事前に申し込みが必要です。

問い合わせ先：(一社)岐阜県猟友会(TEL：058-272-8398)

日時	場所	対象
6月14日(水)	白川町町民会館(加茂郡白川町河岐1645-1)	わな猟
6月24日(土)	高山市民文化会館(高山市昭和町1-188-1)	第一種・第二種銃猟
7月4日(火)	高山市民文化会館(高山市昭和町1-188-1)	わな猟
8月8日(火)	岐阜産業会館(岐阜市六条南2-11-1)	第一種・第二種銃猟
10月29日(日)	郡上市総合文化センター(郡上市八幡町島谷207-1)	わな猟
11月9日(木)	瑞浪市総合文化センター(瑞浪市土岐町7267-4)	わな猟

(主催者：岐阜県、受託者：(一社)岐阜県猟友会)

林地開発許可制度について

きれいな水や空気を育み、自然災害を防ぎ、生活環境を守るなどの働きで、私たちの暮らしを支えてくれる森林。その大切な森林の働きが、無秩序な開発で損なわれないよう設けられているのが森林法の「林地開発許可制度」です。

開発事業を計画されている方へ

●対象となる森林や規模は？

保安林以外の民有林（地域森林計画対象民有林）において1ヘクタールを超える開発を行う場合は、事前に申請し、知事（農林事務所長）の許可を受けることが必要です。

●許可の基準は？

次の4つの森林の働きが、開発によって損なわれるおそれがないか審査します。

災害を防ぐ働き	水害を防ぐ働き	水を育む働き	環境を守る働き
周辺に土砂の流出や崩壊、その他の災害を発生させるおそれがないこと。	計画地の流域内に水害を発生させるおそれがないこと。	地域の水量・水質などに影響を与え、水の確保に支障をきたすおそれがないこと。	周辺の環境や景観を悪化させるおそれがないこと。

●罰則強化について

無許可で開発を行ったり、許可条件に対する違反行為があった場合は、森林法に基づき、「中止」や「復旧」を命ぜられることがあり、悪質な場合には罰則が科せられます。

なお、平成29年4月より罰則が強化されました。

罰金150万円以下



懲役3年以下 又は
罰金300万円以下

土地の所有者の方へ

私法上、土地所有者には、土地の所有責任があり、所有地で災害が発生し、他人の生命や財産などに被害が生じると損害賠償請求の対象となる場合があります。

所有する土地を貸出などで開発用地として提供される際には、これらのリスクを認識して頂き、開発事業を行う方に対して次のことを確認し、ご納得頂いたうえで提供してください。

- 開発中の防災対策の内容
- 開発が終わった後に土地を管理する上で留意する点
- 開発が中断・廃止されることになった場合の取り扱い

など

【治山課 長谷部 達也】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8528 治山課か農林事務所までお問い合わせください。



森林・林業関係イベントカレンダー（7月）

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
7月11日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間：9:30~15:30 学科 15:30~16:30 実技 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,340円（本代含む）（振込み） ●定 員：30名（定員になり次第締め切ります。）	岐阜県森連東濃支所 （恵那市長島町永田字城ヶ洞307-69） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 TEL:058-275-0192/FAX:058-201-1195
7月12日(水)~ 7月13日(木)	伐木・チェーンソー 作業従事者特別教育	●講習時間：12日 8:30~17:40 学科 13日 8:30~17:30 実技 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：18,900円（本代含む）（振込み） ●定 員：30名（定員になり次第締め切ります。）	岐阜県森連東濃支所 （恵那市長島町永田字城ヶ洞307-69） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 TEL:058-275-0192/FAX:058-201-1195
7月13日(木)	平成29年度 狩猟免許試験	狩猟免許のための試験を実施します。 ●時 間：9:30~17:00 ●申 込：6月15日(木)~6月29日(木) ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは、右記問い合わせ先までお問い合わせください。	可茂総合庁舎大会議室 （美濃加茂市古井町下古井2610-1） 各地域を所管する県事務所 または岐阜県環境企画課 TEL:058-272-1111（内線2701）
7月25日(火)~ 7月28日(金)	フォークリフト 運転技能講習 受講資格： 自動車普通運転免許所持者	●講習時間：1日目：8:30~16:30 学科 16:30~17:30 学科試験 2~4日目：8:00~17:30 実技・試験 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：31,860円（本代含む）（振込み） ●定 員：30名（定員になり次第締め切ります。）	学科：伊自良中央公民館（山県市大門912-1） 実技：ぎふ農協伊自良共選場（山県市洞田127-5） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 TEL:058-275-0192/FAX:058-201-1195



4月から岐阜県山林協会に勤めている瀬上です。3月までは職員として、森林・林業関係の行政を37年間担当していました。その中で、印象深い仕事は、治山事業です。平成元年に揖斐地域で発生した豪雨災害で、設計・施工監督した流路工に、下流の県道の橋の手前で、土砂を貯める10m程度の大きさの調整池を造っていたところ、その調整池で豪雨で流れ出した土砂が止まり、県道に被害は出ず、地元の方から大変感謝されました。自分の仕事の成果を実感するまたとない体験でした。山林協会でも、成果が実感できるよう仕事をしていきたいと考えています。

「森林のたより」は、一般の人から林業・木材産業の専門家、行政など幅広い分野の方に、森林・林業に関わる様々な事柄を分かりやすく伝える情報誌として定着してきており、今後とも、読者と編集者がそれぞれ納得できる情報誌であり続けるよう努力して行きたいと考えています。

「森林のたより」編集長 （公社）岐阜県山林協会 瀬上 繁隆

イベント情報

連載

- 山の歳時記（143）
- 山のおじやまむし（312）

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵（55）

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築（55）

地域の人

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政（7）

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

7月1日発行

7月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1629回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	11,000	—	
		4 m	20~22cm	12,000	—	
			24~28cm	11,600	16,700	
			30cm以上	12,500	—	
	5月9日 ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20cm以上	15,000	—	
		4 m	16~22cm	16,600	—	
			24~28cm	14,000	—	
			30cm以上	18,500	60,000	
第1207回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	11,500	—	
			22~28cm	11,000	—	
		30cm以上	11,000	16,000		
	5月10日 ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20~22cm	16,000	—	
		4 m	24~28cm	14,000	—	
	30cm以上		17,000	—		
	まっ	4 m	24~28cm	9,000	—	
			30cm以上	10,000	—	
		ひめこ	4 m	24~28cm	15,000	—
30cm以上			16,000	—		
第1540回 東濃共販所	5月11日 くり	4 m	24cm以上	22,000	32,000	
		すぎ	3 m	16~20cm	12,200	13,100
			4 m	22~28cm	12,400	13,900
	ひのき	30cm以上元		13,500	23,000	
			16~20cm	17,000	22,000	
		3 m	22~28cm	15,000	19,700	
			30cm以上元	20,500	64,000	
		4 m	13cm以下	9,000	—	
			22~28cm	14,900	20,200	
	6 m	30cm以上元	22,000	73,000		
18~20cm		27,000	29,900			
まっ	4 m	22~28cm梁	7,500	—		
		30cm以上元	10,000	—		

木材市場

全般的に横ばいで推移

【商況】

スギ並材は3m(16~22cm)が不足しており強含み。スギ合板向け4m(18~42cm)不足。ヒノキは並材の柱、土台はともに強含み、造材は4m(16~22cm)が有利。長良川木材事業協同組合(白鳥)スギ、ヒノキ直送受付しております。製紙パルプ向け広葉樹原木、受け入れ制限となっております。予定される方は共販所担当者まで、一報ください。(岐阜)

スギ並材3m、4m(16~22cm)、合板向けスギ4m(18~42cm)が不足。広葉樹は相変わらず太物(26cm上)が人気。虫害の時期になり、伐採後速やかに搬出ください。(飛騨)

ヒノキ元木良材(高齢材及び枝打材など(特殊材))2m・3m・4m・6mは応札も多く価格安定。ヒノキ並材は3m(16~28cm)・4m(16~28cm)横ばい、6m(16~20cm)価格安定。スギは全般的に品薄、4m元木良材は応札も多くやや高値、二番玉並材は3m・4m(16~28cm)横ばい。枝虫材等、欠点材は売りにくい。(杉については、県内新工場稼働につき今後原木の流れが良くなるが、荷不足感が強い。)(東濃)

製品卸売標準価格 (4月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
		3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松) 特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	(1,950)	→
		3000	120	120	国産5層	60,000	(2,580)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (4月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	284	米栂	へム(アラスカ産)	281
	コースト(目荒)	302	米ひば	ポール	295

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)



ランバーコア合板

木材用語一口メモ

幅の狭い木材の小片をブロック集成した板を芯材に使用し、両面に単板が合板を貼った特殊合板の一種。ブロックボードとも呼ばれます。ドア、間仕切り、カウンターの天板などに用いられています。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建築用語辞典